芙蓉会社内報

平成28年4月号



医療法人社団 芙蓉会 ふよう病院 蓉ミオ・ファミリア町田 千葉芙蓉病院 グループホームあおぞら

デイサービスふれあいルーム きゃらの樹ケアセンター



芙蓉会

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ケ所 大

4月14日に発生した熊本での地震は、その後 も余震が続き大変な被害がもたらされておりま す。この度の地震にて被害にあわれた方、お亡 くなりになられた方々に対し、お見舞い、ご冥 福をお祈り申し上げます。法人と致しましても、 支援出来ることがあれば、積極的に対応をする 所存でございます。

今回の震災を受けて、改めて普段からの災害・ 防災に対する対策が重要であると認識する限り です。当法人では、その取り組みの一環として、 「安否ネットシステム」の確立を数か月前から進 めておりました。東日本大震災の際に、携帯電 話回線が繋がりにくかった事を教訓に、何か違 う形態でシステムの確立が出来ないかと模索し ていたところ、知人の紹介で海外の基地局を経



町田市インフォメーション



由するネット回線を利用して安否確認を行うシ ステムを取り扱う会社をご紹介いただき、この 度、実用化に向けて話がまとまった次第です。

安否ネットシステムを簡単に説明致しますと、 「ご利用者とスタッフ」の安否状況を、ネット回 線を通じて確認するシステムとなります。まず は、町田市で運営しております有料老人ホーム、 ミオ・ファミリア町田での実用化を目指して導 入を進めていきますが、最終的には、当会の施 設をご利用いただいている全てのご利用者とス タッフの安否を確認出来るシステムを確立した いと考えております。

さて、ここで一つお知らせです。町田市役所 内にあります新設のタッチパネル式広告に、こ の春から当法人の広告が掲載されています。市 役所にお立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ふよう病院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- 千葉芙蓉病院
- きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション



ふよう便り
ふよう原院

診療技術部長 医師 行野 俊彦

自宅があります国分寺市にて自宅診療の他、 国分寺医師会の理事、国分寺市役所の産業医等、 地元での医療事業の他、以前は三鷹市の療養病 院に 11 年間勤務しておりました。東日本大震災 後の耐震問題で病院が閉鎖となり、当病院には 友人の紹介でご縁があり現在に至っております。

現在は主に療養型病棟で従事しておりますが、 当病院の看護師、ヘルパーの方々は、患者様の ためにという気持ちで一生懸命働いており、私 も気持ちを引き締めて、職員をしっかりサポー トしていきたいと思っております。

今後は町田芙蓉病院の地域への更なる周知と、 将来的には外来業務の開始を構想しております。 昨年末より医局の体制も充実し、院長先生を中 心として、患者様、患者ご家族様の気持ちに寄



り添い、一方的な医療提供ではなく、当院で良かったと選ばれる医療提供を目指していく所存です。

今後ともお力添えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

経営企画室長 清水 弘道

「経営企画室」と聞いても、何をする部署なのか外からは分かりにくいかもしれませんが、主な業務は、病院の運営や数字にまつわることです。

私が当法人に入職したのは、平成26年9月の ことです。それまでは他業種に勤めておりまし たので、まず「病院の仕事とは何か」というと ころからのスタートでした。そもそも「病院」 とは何なのか。皆様もご存知の通り Hospital と は、中世ヨーロッパにおいては、社会的弱者や 孤児、孤独な老人などを収容する施設を意味し ています。また、ホスピタ hospita という語幹は、 host=友人、客という意味なのだそうです。病 院 = 医療を受ける場、というのが、現在の社会 通念となっていますが、私達病院職員は、この host という語幹が持つ意味をいつも根底に置き、 患者様お一人おひとりを、友人や自分のお客様 のように大切にお迎えし、真摯に向き合いなが ら病院運営に当たらなくてはならないと思って います。これからも初心を忘れずに、お客様を 第一に考え、業務に邁進して参りますので、よ ろしくお願い申し上げます。



最後に、私のお気に入りで、忘れてはならないと思っている文章を皆様にご紹介させていただきます。

それは、1887 年設立でアメリカ合衆国に本社を置く、製薬・医療機器関連製品を取り扱う多国籍企業ジョンソン・エンド・ジョンソンの「我が信条 (Our Credo)」です。第4節まであるこが信条には、顧客に対して企業がどう向き合うべきか、お客様のニーズに応え、他者と共存勢できか、お客様第一主義とプロ意識がよいます。ご興味がありましたら、皆様にもご一読いただけると幸いでございます。

院内職員研修会報告「個人情報保護法について」 28年2月開催 発表者:川原経営 新井氏

<内容>

医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」に関するQ&Aより抜粋

- Q1「個人情報」とは具体的にどのようなもの があるか?
 - A ・患者・利用者の情報
 - ・医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護 職員、事務職員等の情報
 - ・仕入先業者等の従業者の情報など
- Q2 死亡した個人の情報については、「個人情報」に該当せず、個人情報保護法の対象にはならないが、どのように扱うべきか?
 - A ガイドラインでは、患者・利用者が死亡した後においても、事業者が当該患者・利用者の情報を保存している場合には、情報漏えい等の防止のため、生存する個人情報と同様を講じるよう求めている。また、患者・利用者が死亡した際に、遺族に対して診療情報、介護関係記録を提供する場合には【診療情報の提供等に関する指針】の取り扱いに従って提供することとしている。



- Q3 入院患者・入所者に知り合いと名乗る人 が面会に見えたときに、病室を教えて良 いか?
 - A 患者・利用者の氏名は、個人を識別できる情報であり、「個人情報」に該当します。

<内容>

個人情報は時間と共に変化してゆくものなので、絶えず検証と改善を継続していかなければならない。

実際の業務の中で判断に困る場面もありますが、即答せずに折り返しの対応にする事によっ

院内職員研修会報告「ターミナルについて」 28年3月開催 発表者:佐藤院長

<内容>

朝日新聞デジタルのアンケートより抜粋「人生の最終段階について心配なことは?」

人生の最終段階で望む医療は?

- ①人生の最終段階を過ごしたい場所は?
- ②人生の最終段階の医療を家族と話しあっているか?
- ③希望する場所で最後を迎えるために特に必要な 事は?
- ④人生の最終段階で心配なことは?

アンケート結果より

- ①苦痛を緩和
- ②医療行為が必要な状態でなければ自宅
- ③伝えてある、もしくはこれから伝える。ただし 文章に残している割合は12.5%ほど
- ④お金。家族への意思表示
- ⑤家族への負担。お金。

<まとめ>

療養型医療施設を最終段階で過ごしたい場所 として選んで頂くにはどうしたら良いのか?それを考えて行く上で自分の家族を預けたいと思 えるか?と言う視点が大切だと思います。

そして誰にも訪れる終末期に対して、早い段階から家族に伝えておく、また尊厳死協会に入会するなどしてその時に備えておく事がいざという時に家族への負担を軽くする近道かと感じました。



院内職員研修会報告「新年度の挨拶」 28年4月開催 発表者:佐藤院長 四ケ所理事長

<内容>

佐藤院長「新年度に向けて」

本年の診療の目標としては「ターミナルケアの充実」を目指したいと思います。入院患者様のほとんどが積極的医療をやり尽くした、又はその適応外とみなされ当院に転院し、やがて終末期を迎えます。それらの患者様を目の前にして、我々病院スタッフは、患者様の苦痛を減らし穏やかな状態で看取りをするために、ご家族と共に何が出来るのか、何をなすべきかを考えてみたいと思います。

四ヶ所理事長「28年度事業計画(案)について」

- ①28年4月実施の診療報酬改定について。30年4月のダブル改定に向けて。
- ②雇用環境の整備について
- ③町田ふよう病院における業務改善について
- ④地域包括ケアシステムの構築について



減量

看護科長 小倉 降子

朝、花の蜜をめあてにやって来るウグイスやメジロがよく鳴いています。野鳥のさえずりに、田舎の山の風景が目に浮かび、やすらぎを感じるひとときを過ごすことができる良い季節です。長く健やかにお過ごしいただくためには、健康寿命を長く維持することが大切です。では、どのような生活をすれば良いのでしょうか。ご入居者の健康管理に携わる立場から、生活習慣病予防の話を少ししたいと思います。



食事: 塩分を控え、野菜や果物を多く摂取すること。

早食いを改めて、適量をバランスよく召し上がること。 : BMI (体重 (kg) ÷ 身長 (m) 2) = 25 未満が理想です。

必要であれば減量し、25未満を保つようにしましょう。

アルコール:エタノールで男性 $20 \sim 30 \, \text{m}\ell /$ 日以下

女性 10 ~ 20 mℓ/日以下

適度なアルコール摂取は、ストレス解消、安眠効果があります。

たばこ : 血管を収縮させ、動脈硬化を進行させるため、禁煙をお勧めします。

薬 : 治療している降圧剤、高脂血症治療薬、抗血小板剤等は、自己判断でやめないこと 運動 : 有酸素運動(歩行、ランニング、サイクリング、水泳など)を毎日30分以上が理想

運動量が多くても一定以上は痩せにくくなるなど、消費カロリーが増えないという研究結果もあります。しかし、その余剰分は免疫力を上げることに使われ、内臓の炎症が抑えられ、慢性的なアルコール肝炎や肝障害も軽減するかもしれないという意見もあります。

健康で長生きするためには、歩くことが最適です。正しく歩くことで、心臓や血管、骨や骨格筋を鍛えることができます。さらに血流が良くなり、血圧を下げる効果も期待できます。また、脳への酸素供給量が増え、空間記憶の改善につながるとも言われています。

歩き方ですが、正しい姿勢を保ち、少し大きめの歩幅で、時速 $4 \sim 5$ kmくらいの早歩きをするのが理想だそうです。急には無理でも、健康のために少しずつ意識して歩いてみませんか。



おでんバイキング

2月中旬、寒い冬にアツアツのおでんで暖まっていただきたいと企画された、おでんバイキング。今回はいつものおでんと様子を変え、皆様におでん種の希望を出していただいて、おでん鍋にてご用意させていただきました。



ご入居者の皆様は、湯気の立ったおでん鍋をのぞき込み、しっかりと味の浸みた種の中から「これが好き」「これもいただいてみたいわ」と、おでんをいくつも選ばれ、ワイワイガヤガヤと楽しみながら召し上がっていただきました。



シャンソンコンサート

3月、ひな祭りの前日。シャンソン歌手の方をお招きして、コンサートが開かれました。聞きなれたシャンソン、昔、良く口ずさんだシャンソン。「シャンソンを聞くと色々な事を思い出すわ」と目を輝かせながら話して下さいました。







ひな祭り

恒例のひな祭りが3月3日に行われました。 昼食はひな祭りの行事食を召し上がっていた だき、午後はほんのり薄化粧のおひな様と凛々



しいお内裏様に並んで頂き、記念写真を撮りました。毎年、施設の中がパッと華やぐ一日です。



お花見

恩田川のお花見も知名度が上がり、年々訪れる人が増えてきました。今年は、開花が早まるかと思えば、寒くなり、予定を組むのに四苦八苦しましたが、無事にご入居者の皆様に見事な桜の花を見て頂くことができました。

車から降り恩田川に延々と続く桜を眺めていると、春の訪れを肌で感じ、心が穏やかになりながらも会話が弾み楽しい楽しいお花見となりました。







おにぎり

5月のある昼食。4月から施設内に掲示して あったおにぎりの日です。

施設の食事として、あるようでないのが、この おにぎり。白いご飯に塩をつけ、お好きな具を 選んで海苔を巻き、三角おにぎり、俵型、おに ぎらず…、様々な形のおにぎりを握りながら、 昔作ったお弁当のお話などで、皆様盛り上がっ ていらっしゃいました。しばらくすると、何や らいい香りが。焼きおにぎりの登場です。香り に誘われ焼きおにぎりも好評でした。





医療法人社団芙蓉会 芙蓉ミオ・ファミリア町田



見学随時受付中

〒194-0004 東京都町田市鶴間 544-2 TEL 042-788-3310 FAX 042-788-3312

計画作成担当 野村 耕平

ようやく寒い季節も終わり、今年もホーム中 庭の桜が見事に咲きました。この時期は、中庭 に面している窓を開け放して、デッキのテーブ ルで桜を見ながら全員で昼食をとります。桜を 見ながら「おいしいね」と、お食事をされる入 居者様。その笑顔も満開になります。

ホームには認知症の方が入居されていますの で、時々、今までできたことができなくなり、 戸惑いや不安に駆られる方がいます。例えば調 理なら、段取りや、何を入れたかを失念したり するのですが、そのような時は、声をかけなが ら一緒に作るなど、全てを介助しなくても、少 しの手助けや声かけで以前と同じようにできる ことがあります。こうした日常生活の積み重ね が、「自信」や「生きていく励み」となり、生き 生きとした生活へとつながっていきます。とは いえ、50~60年、主婦をやってきた方達にはか ないません。以前、夜勤明けの朝食を作る私を 気遣って早起きしてこられた入居者様が、「味噌 汁はこう作った方が美味しいのよ。」と、ネギの 切り方や、食器の並べた方を教えてくださった ことがありました。人生の先輩に教わる場面。



このようなやり取りもグループホームならではの宝物だと感じています。

私は今年で8回目の春をこちらで迎えました。 年数を重ねるごとに、ますますこの仕事の難し さや深さを知る毎日ですが、2月に初めて介護 福祉士実習指導者として実習担当をさせていた だいた中で、初心を忘れてはいけないと改めて 実感しました。入居者様に、より輝いた生活を 送っていただけますよう、個々のふれあいを大 切にして、「このホームで過ごせて良かった。」と、 思い感じていただける介護を、今後も続けて参 りたいと思っています。

イベント報告 あおぞらでは、1~3月、外出支援をさせていただいております。

富士山を見に行こう

入居者の皆様に、どこかドライブに 行きたい所があるかと尋ねたところ、 真っ先に「富士山が見たいわ」という 声が出ましたので、第一弾として、企 画しました。





医療法人社団芙蓉会 グループホームあおぞら ・見学随時受付中・



東京都町田市鶴間 544(ふよう病院内) TEL/FAX 042-795-2634 E-mail aozorafuyou@fuyou.or.jp URL www.fuyou.or.jp/machida_aozora

お寿司大好き!

お寿司が大好きなお2人からの希望があり、 お寿司ツアーを企画しました。まずは、相模原 市の朝溝公園にお連れし、青空の下で気持ちの 良いお散歩。公園で小さなお子様連れの方に声 を掛けていただいたり、高い棟に上ったり、小 さな動物園を周ったりした後は、お待ちかねの お寿司屋さんへ。久々のドライブと、公園での ふれあい、そして大好きなお寿司で心もお腹も 満腹にして帰ってきました。







中庭だより~にわのボランティア隊より~

春、到来

いよいよべストシーズンがやってきます。11 月末から育ててきた「町田市花壇コンクール」に参加する花々も、その日に向けて準備をしています。日に日に色鮮やかに変化する庭を、どうぞお楽しみください。

※芙蓉病院グループホームあおぞら中庭ボランティア隊として、2002 年より町田市のまちづくり事業「花壇コンクール」に参加しています。

ベストビュースポットはどこ?

4月上旬の中庭の話題の主役は、もちろん桜。メンバーに、 VIEWスポットを尋ねると「屋上から」「2階デッキから」「入口から楓の新緑や中庭風景と一緒に」「真下で香りを感じながら」と、それぞれの返答が。皆様は、どこから観る桜がお好みですか?



「中庭を牡丹の名所にしよう。高貴なイメージの牡丹を、きっと皆様も愛でてくださるはず。」あるボランティアメンバーのアイディアから広がった牡丹栽培。今ではすっかり中庭プチ名所の一つです。







4月に楽しめる花々

○桜 ○楓の新緑 ○藤○たいつり草 ○君子蘭○カイドウ ○ジャスミン○チューリップ ○牡丹○町田市花壇コンクール参加花壇

生活相談員 阿部 春代

デイサービスの生活相談委員にとって、日々の主要な仕事の一つは、ご利用者やご家族からの要望や苦情の対応などの相談業務ですが、私は、そういった相談の奥に、相談員としての最も大切な役割があると思っています。それは、ご利用者やご家族の訴えや、困難を解決に導いていくことによって、皆様がより良い生活を送れるようにすることです。では、どうすれば、利用者の生活が良くなっていくのか。私は、生活の向上は、介護の質の向上と共にあると考えています。

介護の質を上げるためには、相談業務を、ただご利用者やご家族にお会いして行うといった形式に限定することなく、様々な角度から継続的にご利用者に向かい合うことが大切です。例えば、ご利用者の日常のご様子を観察したり、介護記録から情報を得たり、サービス担当者会議で他の参加者の意見を聞いたりします。こうして、ご利用者やご家族が抱えている困難を見つけ出し、その解決策を模索していくことで、



より的確なアドバイスを差し上げることができるようになります。ご利用者が自立して、住み慣れた地域でより長く、ご自宅で過ごせるように。生活相談員に求められているのは、困難の解決を常に考えるという姿勢だと自覚し、これからも日々皆様と向き合って参りたいと思っています。

イベント報告

2月~3月の季節行事に合わせて、皆様に喜んでいただけるよう、工夫をこらした節分、ひな祭りイベントを開催しました。その他にも芋煮会、フラダンス、初の試みシャンソン鑑賞をしました。

節分

2月3日水曜日、節分です。新聞紙やチラシを丸めて球を作っていただき、背負いかごを担いで逃げ回る鬼めがけて投げます。とても盛り

上がりました。運動後は、昔懐かし紙芝居で休憩タイム。



芋煮会

2月8日月曜日、皆様にお手伝いいただいて、 芋煮会を開催しました。生活リハビリの一環と して、下ごしらえは全員で行いました。女性ご 利用者様のベテランの手つきに脱帽です。







フラダンス

2月 10 日水曜日、町田市「いきいきポイント制度」で活動しているボランティアの皆さんがフラダンスを披露してくださいました。今後は、毎月1回来所予定。楽しみが増えますね。





シャンソンコンサート

3月2日水曜日、シャンソン歌手歴 30 年の上田淳子さん、ピアにストの大島春夫さん、ベーシストの小阪良二さんをお迎えして、シャンソンコンサートが催されました。聴く人に話しかけるような歌い方が優雅でとても素敵です。全

員がシャンソンの魅力に酔いしれた一日でした。 最後に、ご利用者様からコンサートを開いて下 さった皆様にお礼の気持ちを込めて花束を贈呈 しました。







ひな祭り&苺大福作り

ひな祭りイベントとして、「苺大福」を作りました。

真っ赤な大粒の苺を餡で包み、更にその上からピンク色の生地を載せ、形を整えて完成です。

苺が大きかったので、餡を包み込むのが大変でしたが、美味しそうな苺大福が出来上がり、お やつの時間にいただきました。









医療法人社団芙蓉会ふれあいルーム

通所介護・認知症対応型 月~土9:15~16:30 日曜日はお休みです

> 〒194-0004 東京都町田市鶴間 544-2 TEL 042-788-3302 FAX 042-788-3309

院内職員研修会報告「インフルエンザ・ノロウィルス」 27 年度冬季 発行者:池田看護部長

冬季に2回にわたり、研修を行いました。インフルエンザ・ノロウィルスのいずれも毎年研修を行い、職員に指導しております。

今年度は、年明けの気温が下がったころからインフルエンザが特に流行し猛威をふるっています。ここではインフルエンザについて述べさせていただきます。

インフルエンザは潜伏期間が1~4日で、症状が出現する1日前から、発症後5~7日の期間、ウィルスを排出すると言われます。ですからインフルエンザにかかった自覚のない人から他の人へ、学校や職場で次々感染してしまい大流行をおこすのです。

若い人・健常者は発症しても多くの場合治癒すると言われるのに対し、乳幼児や高齢者、慢性疾患のある人、免疫抑制剤を使用している人などは、悪化するリスクが高いので注意が必要です。特に私たちの勤務する高齢者対象の病院や施設は、そうした方が多いため感染予防対策をとっています。

一般的な消毒・手洗いは言うまでもありませんが、職員が院内にウィルスを持ち込まないようにするため、職員の健康管理はもちろん職員 家族の健康状態も確認しています。職員家族を



含め、インフルエンザ感染が確認された場合は、 病棟に立ち入らない規定を設けております。 ノ ロウィルスによる感染性胃腸炎の発症時も同様 です。こうして、患者様への感染防止に努めて います。

また、近隣の流行状況によって、面会の制限も設けており、今年も多くの御家族にご迷惑をおかけし恐縮ですが、患者様を守るためにご理解をいただきました。この場をお借りし、御礼申し上げます。

ひな祭り (千葉芙蓉病院)

3月3日、今年度を締めくくる年間レクリエーション、雛祭りが各 病棟で行われました。

患者様には、職員手作りの衣装を身に着けていただき、写真撮影を 行いました。今年もまた、こうして写真を撮ることができたと、また 次の一年への励みにしていただけています。

雛祭りは、女の子のための行事。女児の初節句には雛人形を用意し、 健やかな成長と幸せを願いながらお祝いします。患者様にも、昔を思 い出し、季節を感じていただければ幸いです。短時間でしたが、患者 様と触れ合え楽しいひと時となりました。



ひな祭り (きゃらの樹ケアセンター)





平成 28 年 3 月 3 日きゃらの樹ケアをセンターにて「ひなまつり」の行事をつりまるとした。写真は 2 階談話室に様だけのまりです。最近はお内裏りです。最近はお内裏りでするとは、施設では毎年このもります。行事は、毎年恒例が多七段節ではある時間をよる「仮装雑人形」。各階フロアをあるといっていただきました。単時間を過ごしていただきました。

第3回 千葉君津事業所ご利用者の見学会

平成28年4月2日君津事業所をご利用いただいているご利用者、ご家族様を対象にして広岡の事業所の見学会を行いました。今回で3回目を迎えたこの見学会では医療法人の展開するすべての事業をみていただき将来も安心していただくことを目的としております。

スタッフ紹介のあと老健きゃらの樹ケアセン ターの見学ののち、社会福祉法人芙蓉会の介護 老人福祉施設「上総園」の見学、千葉芙蓉病院の案内をいたしました。

昼食は普段、施設で提供しているお食事を召し上がっていただき、管理栄養士よりお客様お一人お一人を廻りながら献立の説明など声をかけさせて頂き、帰り際『とても美味しかったです』とのお言葉をいただきました。





千葉合同防災訓練

2月24日千葉医療法人と君津市消防本部と の合同防災訓練を行いました。震災体験をする 車両も予定しておりましたが残念ながら故障中 のため、煙体験テントを使用で充満した煙の中で行動体験。また、屋内消火栓と消火器による 消火訓練を行い有意義な訓練を行いました。



